令和4年度第3回 支えあいのまちづくり協議体（月島地域）実施報告

中央区に住む方・働く方ができる支えあいの形について、身近な地域で話し合う「支えあいのまちづくり協議体（月島地域）」の令和４年度第3回目を、月島地域で開催しました。

１ 実施日

令和4年12月19日（月）14:00～15:30

２ 出席者

日頃高齢者と関わる機会の多い地域住民、関係機関、生活支援コーディネーター　10名

３ 内容

・各メンバー近況報告
・意見交換：「集まれ！スマサポまつり」の勝どき敬老館での実施について、広報紙『となりぐみ』について

４ 出席者近況報告

前回の協議体から、地域の様子や高齢者の状況について、各々から報告を行った。

- ✓ 関わっている認知症高齢者からの連絡が増えているが、都度対応している。
- ✓ 地域ささえあい課が実施しているスマホささえ隊養成講座に参加した。横文字を覚えるのは難しいが、高齢者がスマホを楽しんでもらえたら、という気持ちで取り組んでいる。
- ✓ １０ 月に開催された健康福祉まつりでは、主任ケアマネジャーの会として脳トレや介護相談のブースを設けた。改めて人と対面するイベントの大切さを感じた。
- ✓ 感染者の増加により、病院では引き続き面会を中止している。面会できない中で、LINE 通話などが活用され、LINE 講習会の必要性を改めて感じている。
- ✓ 高齢者を訪問した直後に、その方のコロナ感染がわかり驚いた。感染拡大を感じる。
- ✓ 高齢者の通いの場等でカーレットを行う団体が多い。98 歳の高齢者が参加されており、高齢の方でも楽しめるスポーツとして、カーレットはおもしろいと思った。
- ✓ 地域に人が戻ってきている。外国人をはじめ観光客も増えた印象を受けている。
- ✓ 社会教育会館などの予約が取りにくくなったことから、活動団体が増えていることがわかる。

５ 意見交換

（１）「集まれ！スマサポまつり」の勝どき敬老館での実施について

前回の協議を踏まえ、コーディネーターが勝どき敬老館にスマサポまつりの実施を打診した。勝どき敬老館からは、開催自体は問題ないとの回答をいただいたが、同時に以下の疑問点や意見もいただいた。

・スマサポまつりの目的である“高齢者のつながりづくり”は、敬老館で実施した際に達成できるのか。
・実施にあたり、１回で終わってしまっては意味がない。複数回実施する必要があるのではないか。
・高齢者の ICT に関するアンケートを実施し、その結果を踏まえてのスマサポまつりではあるのだが、アンケートが難しく回答が負担となる可能性が高い。アンケートは簡素化する方が良い。

➡勝どき敬老館のご意見を共有し、スマサポまつりの実施について再検討を行った。

スマサポまつりは、アンケート調査にて高齢者の ICT に関する実態の把握を主としており、アンケート結果に応じた内容のイベントとしているため、アンケートを簡素化することは本来の目的とはずれてしまう。

そのため、小地域でアンケート→スマサポまつりの実施を重ね、アンケートの傾向が見えてきた段階で、月島全域を対象として勝どき敬老館で実施することになった。

まずは前回の協議体で意見が出ていた勝どき一丁目アパートに、スマサポまつり実施に向けて働きかけてみる。併せて、広報紙『となりぐみ』の創刊号にて、スマサポまつりの紹介と公募記事を掲載してみる。

（2）広報紙『となりぐみ』について

①協議体メンバーの紹介について

メンバーの顔イラストを掲載する予定だが、勝どきデイルームで活動している団体にイラストの作成を依頼してはどうかと提案。

→メンバーからの賛同を得られたため、活動団体に打診する。

②内容

創刊号のみ A4 両面とする。（第2号からはA4片面）

1面は協議体メンバーの紹介および第2層協議体とは何か。2面にはスマサポまつりの紹介・公募。

③配布先案

高齢者が立ち寄る場所を挙げた。

・薬局　・郵便局　・スポーツジム　・銭湯　・病院　・シニアセンター　・高齢者クラブ

・民生・児童委員協議会　・町会・自治会（掲示数 389 部　創刊号のみ回覧数 2，983 部）

6 次回の予定

次回の協議体は令和5年1月下旬または2月初旬に開催予定。第2回スマサポまつりの実施と広報紙の内容について意見交換を実施する。

【当日写真】